

## 観光業、次の主役はベトナム人？

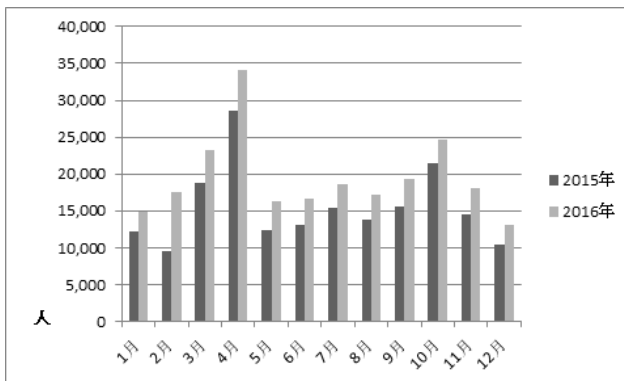
石川 幸

ここ数年、外国人観光客が急増したと感じませんか？

日本の観光庁の訪日外国人消費動向調査によると、2016年通年の訪日ベトナム人数は、前年（18万5,395人）比で26.1%増の23万3,800人と初めて20万人超、過去最高を更新しました。参考までに10年前の2006年では約10分の1の2万5,637人でした。

ベトナム人が最も多く訪日する時期は、突出して4月です（下記表をご参照）。これは、桜のお花見を目的としていると考えられます。ベトナム各地でも桜祭りと称した日本を題材にしたお祭りが開催されるなど、日本イコール桜と言っても過言ではないぐらい、ベトナムでは有名です。桜に次いで人気なのは紅葉で、10月に訪日するベトナム人も多いです。

《ベトナム人訪日者数の月別の推移（2015年、2016年）》



出所：日本政府観光局（JNTO）

上記表のように年々増加傾向にあるベトナム人訪日客に日本側が期待することは、経済効果です。2016年の訪日ベトナム人1人当たりの旅行支出額は、全国籍・地域（平均は15万5,896円）の中で7番目に多い18万6,133円でした。最多は、オーストラリアの24万6,886円、2番目は中国の23万1,504円でした。しかし、飲食費の支出はベトナム人が1位（3万4,690円）、買い物代は4位（5万8,883円）でした。

このように日本で大量消費するベトナム人訪日客を増やそうという努力を官民共にしておりますが、今後の追い風となるポイントがあります。主に、考えられるのは下記3点です。

### ①航空券代

ホーチミンから日本への往復航空券代は一般的に約4万円からです。ベトナム人の大卒初任給が約3万円からのベトナム人にとって日本への航空券は高嶺の花です。しかし、昨年からLCC（格安航空会社）のバニラエアがホーチミン～成田空港間で就航し、最安の片道航空券はなんと8,500円からのため、ベトナム人にも手の届く範囲の値段になりました。このようにベトナムからの訪日客増加は、LCCの増便が1つ目の鍵になります。

### ②物価

ベトナム人にとって、日本の物価は非常に高いです。ホーチミンだとベトナム麺のフォーは1杯約200円、バスの初乗りは約25円と一部を除き、ほとんどの物が日本と比較し安価です。上述したように、ベトナム人の大卒初任給が約3万円からのため、日本を含め先進国の物価は全体的に割高に感じます。ただ、ベトナム人の賃金が昨年比7%上昇するなど、中間層や富裕層の割合が一昔前と比較し日を追うごとに増加しています。このように所得の上昇が2つ目の鍵になります。

### ③ビザ（査証）

一番の問題かもしれないのが、ビザ取得のハードルです。日本人にとって、外国に旅行する際に事前にビザを取るという概念はほとんどないと思います。一方、ベトナム人が日本に入国する際は、例え観光でもハノイの大使館かホーチミンの総領事館に赴きビザを取得する必要がありました。しかし、昨年12月からその制度も変更になり、大使館や総領事館だけでなくベトナム国内の旅行代理店窓口でのビザの取得が可能になりました。それでも、ビザ取得のための預金残高証明書など提出書類が多数ある等、残されているハードルは低くはありません。そして、渡航者の条件によってはビザが発行されない場合もあります。

その一方で、ベトナムと同じ東南アジアのタイ、マレーシアは2013年7月からビザなしで日本へ入国することができるようになりました。これを受けタイ、マレーシアからの訪日者数が2014年上半期は前年同時期と比べそれぞれ60%以上増加しました。

このようにビザの緩和が3つ目の、そして最大の鍵になるかもしれません。

上記のように、訪日に有利な条件になれば、ベトナム人の訪日者数が増加するのは間違いありません。現在ベトナム人に人気の観光地は東京、北海道、京都、大阪などですが、訪日ベトナム人が増加するにつれ、その他の地域も注目されるでしょう。そんな中、広島にはベトナム人にも有名な原爆ドームをはじめ、景色好きのベトナム人が喜ぶと思われる宮島など魅力がたくさんあるため、今後ベトナム人に人気の観光地になるかもしれません。